とよほっと新聞

～笑顔ｄｅ共育て～

令和４年12月１日発行
豊玉保育園
〒176-0013
練馬区豊玉中４－13－６
TEL　3991-4484
FAX　3991-3872

柴田トヨさんの詩集より
今月の詩

やさしさ

歳をとると
やさしさが
ほしくなるの
それが栄養になって
元気になる

でもね

偽りのやさしさを
食べた時は
吐いてしまった

真実のやさしさ
手料理を
いただかせてください

月の主題

楽しい師走

今月の保育のねらい

・みんなで楽しい集いを準備して参加する
・師走の雰囲気を楽しむ

令和四年　師走 & 保育

寅年も師走。わたくしたちの日常生活では年の瀬を迎えることになり、いやおうなしに気持ちもあわただしさを感じるのではないでしょうか。

一年で、最も昼間が短くなる冬至も訪れますがこの日を境に太陽が出ている時間が長くなっていきますので、古代では二十四節気の冬至を一年の始まりの日としていました。

二十四節気は、一年を春夏秋冬の四つに分け、さらにそれぞれを六つに分けたものです。夏至・冬至・春分・秋分は「二至二分」と呼ばれ、暦の基礎となる日として、古くから重要視されてきました。

保育においても、年間指導計画では、一年を四期に分けて実践を行っています。とはいっても、実際には、〇〇から●●までと区切りがつくわけではありません。子どもたちが日々のあそびをとおして、継続しながらさまざまな力を身につけて成長しています。併せて、季節も重要で自然との関りを大切に保育に取り組んでいます。師走の社会事象なども経験しながら保育を楽しみたいと思います。

12月　行事予定

日	曜日	予　定　内　容
1	木	
2	金	大きくなったね会総練習（4・5歳児）
3	土	
4	日	
5	月	
6	火	園内研修
7	水	
8	木	0歳児健診
9	金	大きくなったね会　（4・5歳児） はいチーズ撮影日
10	土	園舎清掃（業者による）
11	日	
12	月	
13	火	身体計測（乳児） にこにこタイム（幼児）
14	水	身体計測（幼児） 幼保小連携（5歳児） ※近隣５園の保育園の年長児と豊玉小学校１年生との交流 豊玉小学校長と５歳児保護者の懇談会
15	木	歯科健診（全園児） 友光さんとあそぼう（4・5歳児） めだかくらぶ
16	金	年末おたのしみ会 （乳児・幼児入れ替えで実施） ※父母の会によるコンサート同時開催 はいチーズ撮影日
17	土	
18	日	
19	月	
20	火	
21	水	
22	木	友光さんとあそぼう（4・5歳児）
23	金	
24	土	
25	日	
26	月	おはなし会（幼児）
27	火	鏡餅作り
28	水	2022年保育終了日
29	木	休　園
30	金	休　園
31	土	休　園

※避難訓練…予告なし

日曜日の朝のひととき

平日、新聞に目を通すのは10分～15分くらいでしょうか？起床から2時間くらいのゆとりはありますが何故か、朝はあわただしさが否めません。保護者の皆様は、わたくしとは比べ物にならない忙しさと察します。

先日の日曜日、コーヒーを飲みながら一時間くらい新聞に目を通し、至福の時を過ごしました。日々、このような時間が取れることを願いながら読んでいたところ**タイトル**にひかれて目に留まった記事がありましたので一部をご紹介します。

日本語の感性　遊んで磨く

言語は曖昧性に満ちている。同じ音が並んでいても、意味が二つ以上存在することがあるのだ。例えば先日、小学二年生の娘に「明日の学校で、『じどうかんしょうかい』やるんだよ」と言われ、「なぜ児童館の紹介を学校でやるのか?!」と不思議に思った。聞いてみると運動会の「児童鑑賞会」のことだった。「じどうかんしょうかいは」は、「じどうかん」＋「しょうかい」ではなく「じどう」＋「かんしょうかい」だった。私も妻も言語学者だからこういうすれ違いは大好物。（中略）

子育てという日常生活の中で、このような曖昧性の実例に出会えることは、言語学者とーちゃんとしてはこの上ない喜びである。子どもの言語能力がどんどん成長していく過程を専門家の視点から生で体験し感動できるのは、言語学者の役得かもしれない。

言語学者　川原繁人氏（慶応大教授）

発語の時期や言葉の理解、語彙力などは個人差があります。大人の中にも、日本語でも自分の気持ちを伝えることが苦手で、それが原因で社会生活を送るのが困難になっている人も少なくないと思います。

種をまいても、水・養分・太陽の光がなければ花は咲きません。言葉を獲得していく過程に大切なことは子どもたちが楽しみながらあそびをとおして日本語への感性を磨いていくことです。そのことを心に留めて言葉を紡いでいきたいと思います。

ありがとうございました

保護者の皆様には今年もご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。来年も何卒よろしくお願いいたします。